

達第五百五十三號

艦艇製造費ヲ以テ昭和十三年度及同十四年度ニ於テ建造ニ着手ノ砲艦一隻及潜水艦一隻ニ左ノ通命
名ス

昭和十五年八月一日

海軍大臣 吉田 善 吾

株式會社大阪鐵工所ニ於テ建造

砲 艦 宇 治 (ウヂ)

吳海軍工廠ニ於テ建造

伊號第三十五潜水艦

達

三八三

0386

達第百五十四號

艦營需品試験規格中左ノ通改正ス

昭和十五年八月一日

海軍大臣 吉田 善 吾

航海長 主管

汽燈、舷燈、碇泊燈

規格第五號ヲ左ノ如ク改ム

五 試験用「燈油（三號石油）」・「燈心」ハ燃料及艦營需品トシテ定メラレタルモノト同等ノモノ
ヲ使用ス

信號旗釣

規格第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

- 一 形狀寸法制式圖ノ通ニシテ品質製作見本品ニ劣ラザルモノ
- 二 耐力ハ甲大ハ六〇瓦以上甲小三〇瓦以上乙大ハ七〇瓦以上乙小三五瓦以上ノ重量物ヲ釣ルモ
變形セザルモノナルヲ要ス

達

三八五

0387

達第五百五十五號

海軍共濟組合規則施行細則中左ノ通改正ス

昭和十五年八月一日

海軍大臣 吉田 善 吾

第六十二條中「所管經理部長」ノ下ニ「(要港部經理部長ヲ含ム以下同シ)」ヲ加フ

第六十三條中「要港部」ヲ「旅順要港部」ニ改ム

附 則

本達ハ昭和十五年七月一日ヨリ之ヲ適用ス

(會計法規類集中ノ卷五八四頁參照)

達

三八七

0388

海軍諸例
則登載

達第五百五十六號

大正三年達第七十二號中左ノ通改正ス

昭和十五年八月二日

海軍大臣 吉田 善 吾

廣海軍工廠會計部ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

光海軍工廠會計部

砲類工場庫

製鋼工場庫

水雷工場庫

附 則

本達ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

参照 大正三年達第七十二號ハ海軍工廠會計部工場庫主管ノ配位ヲ定ムルノ件ナリ(諸例則卷一、二三四頁)

達

三八九

0389

達第百五十七號

軍事教育圖書經理規程中左ノ通改正ス

昭和十五年八月六日

海軍大臣 吉田 善 吾

第二條第一項ヲ左ノ如ク改ム

軍事教育圖書ハ之ヲ備品、消耗品及貸與品ニ區分ス

(會計法規類集下卷一三三頁參照)

○正誤(辨)

達第百二十九號末尾ニ「附則、本達ハ昭和十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス」ヲ脱ス

達第百三十二號別表第四(甲)中「要港部及同所屬艦船部隊ノ收入」ハ「要港部、同所屬艦船部隊及建築部出張所ノ收入」ノ誤

達

三九一

0390

達第百五十八號

昭和十三年達第四十四號中左ノ通改正ス

昭和十五年八月十日

海軍大臣 吉田 善吾

第一條中所屬廳區分ヲ左ノ如ク改ム

所 屬 廳	勤 務 廳
海軍省 經理局	東京所在ノ各勤務廳（水路部ヲ除ク）
水路部	水路部
各海軍 經理部	各鎮守府管内ノ各勤務廳（東京及各要港部所在ノ勤務廳ヲ除ク）
各要港部（旅順ヲ除ク） 經理部	各要港所在ノ各勤務廳（旅順要港部ヲ除ク）
旅順要港部	旅順要港部

附 則

本達ハ昭和十五年七月一日ヨリ之ヲ適用ス

達

三九三

0391

達

参照 昭和十三年達第四十四號ハ海軍共済組合事務分掌ニ關スル件ナリ

三九四

0392

達第百五十九號

艦營需品制式圖ヲ別圖ノ通定ム

但シ別圖ハ海軍省軍需局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十五年八月十二日

海軍大臣 吉田 善吾

主計長 主管

貸與品

蓋井

達

三九五

0393

達第百六十號

海軍給與令施行細則中左ノ通改正ス

昭和十五年八月十四日

海軍大臣 吉田 善 吾

第一表少將ノ項中「四、五〇〇圓」ヲ「七、一〇〇圓」ニ改ム

第二表普通善行章ノ項中「五線」ヲ「四線」ニ、「二錢五厘」ヲ「二錢」ニ、教員ノ項中「四錢五厘」ヲ「五錢」ニ改ム

附則

本達ハ昭和十五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一表ノ改正規定ハ昭和十五年五月一日ヨリ之ヲ適用ス

達

三九七

0394

海軍諸例
則登載

達第百六十一號

海軍官印規程中左ノ通改正ス

昭和十五年八月十四日

海軍大臣 吉田 善 吾

第二條中「病院、」ヲ「病院（要港部病院ヲ除ク）、」ニ改メ「學校」ノ下ニ「地方在勤海軍武
官府、支那地方在勤海軍武官府」ヲ加フ

第三條中「艦政本部長所屬廳長、」ノ下ニ「造船造兵監督長、首席造船造兵監督官（造船造兵監督
長ヲ置カサル場合ニ限ル）、」ヲ加ヘ「地方在勤武官、」ヲ「地方在勤海軍武官、支那地方在勤海
軍武官、」ニ改ム

（會計法規類集下卷四一頁、諸例則卷一ノ七一頁參照）

海軍諸例
則登載

達第百六十二號

工場事業場監査規程中左ノ通改正ス

昭和十五年八月十四日

海軍大臣 吉田 善 吾

達

三九九

0395

達

第十三條第七號中「一切ノ經費」ヲ「會計經理」ニ改ム

(諸例則卷四 三六〇ノ四ノ一頁参照)

四〇〇

0396

達第百六十三號

雇員傭人規則中左ノ通改正ス

昭和十五年八月十六日

海軍大臣 吉田 善 吾

第三條表中「舞鶴要港部」及「舞鶴要港部、」ヲ、第五條中「舞鶴要港部、舞鶴以外ノ」ヲ、別表
備考第五號中「舞鶴要港部ニハ給仕七名、」ヲ削リ同號中「同二名」ヲ「給仕二名」ニ改ム

達

四〇一

0397

達第六十四號

海軍臨時増給支給規則中左ノ通改正ス

昭和十五年八月十七日

海軍大臣 吉田 善 吾

別表ヲ別表ノ如ク改ム

附 則

本達ハ昭和十五年八月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(別表一葉添)

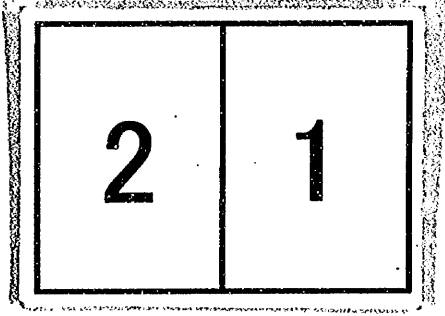
(會計法規類集中卷二二二ノ三ノ三頁参照)

達

四〇三

0398

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	昭和15年達 第164号別表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

(昭和十五年達第百六十四號別表)

國 別	昭和十五年 八月及九月	
	在勤加俸増給率	在勤加俸以外ノ給與増給率
國 別		
英 國	〇、三七三	〇、四七三
米 國	〇、七六一	〇、八六一
佛 國	〇、〇五三	〇、一四五
英 領 印 度	〇、三七四	〇、四九四
獨 逸	一、九七四	二、〇七四
伊 太 利	〇、七〇一	〇、八〇一
諾 威	〇、四九三	〇、六二三
瑞 西	一、〇九二	一、二七四
蘇 聯	二、八三七	三、二七一
丁 抹 邦	〇、二六九	〇、三七九
芬 蘭	〇、四三三	〇、五五八
和 蘭	一、三四七	一、五五一
白 耳 義	二、一四二	一、三三八
瑞 典	〇、四九〇	〇、六二〇
ラ ト ヴ ィ ア	一、〇七六	一、二五六
リ ス ア ニ ア	二、五七五	二、八八二
エ ス ト ニ ア	〇、八七〇	一、〇三二
波 蘭	一、四二八	一、六三九
(舊) 智 恵 古	一、〇五〇	一、二二九
洪 牙 利	〇、七八二	〇、九三七
羅 馬 尼	〇、五二五	〇、六五七
ユ ー ゴ ス ラ ヴ ィ ア	一、三八一	一、五八八
勃 牙 利	二、四六〇	二、七六一
希 臘		〇、〇三一
西 班 牙		〇、〇四一
葡 萄 牙	〇、四五二	〇、五七七
加 奈 陀	〇、五二九	〇、六六二
玖 葛	〇、五八六	〇、七二四
古 倫 比 亞	〇、〇四九	〇、一四一
秘 露	〇、〇〇六	〇、〇九四
亞 爾 然 丁		
タ イ	〇、四〇四	〇、五二六
佛 領 印 度 支 那	〇、〇五三	〇、一四五
蘭 領 印 度	一、三四七	一、五五一
海 峽 植 民 地	〇、三八四	〇、五〇五
土 耳 古	一、四三四	一、六四五
伊 蘭	一、一四五	一、三三二
埃 及	〇、三八八	〇、五〇九
英 領 南 阿 弗 利 加	〇、三七六	〇、四九六
南 阿 聯 邦	〇、三七〇	〇、四八九
澳 洲	〇、〇九九	〇、一九四
新 西 蘭	〇、一〇四	〇、二〇〇
比 律 賓	〇、七五八	〇、九二一
サ ル ヴ ア ド ル	〇、四〇四	〇、五二七
ウ エ ネ ヅ ユ ラ	一、六四七	一、八七七
ダ ン チ ャ ッ ヒ	〇、三九九	〇、五二一

0400 0399

備考

一、「イラク」、「パレスチン」、「トランスヨルダン」、「ケニア植民地」、英領西阿弗利加、

英領印度	〇、三七四	〇、四九四
獨逸	一、九七四	二、〇七四
伊太利	〇、七〇一	〇、八〇一
諾威	〇、四九三	〇、六二三
瑞西	一、〇九二	一、二七四
蘇聯	二、八三七	三、一七一
丁抹邦	〇、二六九	〇、三七九
芬蘭	〇、四三三	〇、五五八
和蘭	一、三四七	一、五五一
白耳義	一、二四二	一、三七八
瑞典	〇、四九〇	〇、六二〇
ラトヴィア	一、〇七六	一、二五六
リステニア	二、五七二	二、八八二
エストニア	〇、八七〇	一、〇三二
波蘭	一、四二八	一、六三九
(舊)智恵古	一、〇五〇	一、二二九
洪牙利	〇、七八二	〇、九三七
羅馬尼亞	〇、五二五	〇、六五七
ユーゴスラヴィア	一、三八一	一、五八八
勃牙利	二、四六〇	二、七六一
希臘	—	〇、〇三一
西班牙	—	〇、〇四一
葡萄牙	〇、四五二	〇、五七七
加奈陀	〇、五二九	〇、六六二
欽馬	〇、五八六	〇、七二四
古倫比亞	〇、〇四九	〇、一四一
秘露	〇、〇〇六	〇、〇九四
重爾然丁	—	—
タナイ	〇、四〇四	〇、五二六
佛領印度支那	〇、〇五三	〇、一四五
蘭領印度	一、三四七	一、五五一
海峽植民地	〇、三八四	〇、五〇五
土耳其	一、四三四	一、六四五
伊蘭	一、一四五	一、三三二
埃及	〇、三八八	〇、五〇九
英領南阿弗利加	〇、三七六	〇、四九六
南阿聯邦	〇、三七〇	〇、四八九
濠洲	〇、〇九九	〇、一九四
新西蘭	〇、一〇四	〇、二〇〇
比律賓	〇、七五八	〇、九一一
サルツァドル	〇、四〇四	〇、五二七
ウエネヅエラ	一、六四七	一、八七七
ダンチツヒ	〇、三九九	〇、五二一

備考

一、「イラク」、「パレスタイン」、「トランスヨルダン」、「ケニア植民地」、英領西阿弗利加、「タンガンイカ」、「ジャマイカ」及「トリニダード」ハ英國、「シリヤ」、佛國保護領「モロッコ」、佛領「チュニス」、佛領「アルジェリア」、佛領西阿弗利加及佛領「ソマリランド」ハ佛國、「エチオピア」、伊領「リビア」及伊領「エリトリア」ハ伊太利、蘭領「キユラソー島」ハ和蘭、「リニクサンブル」及白領「コンゴ」ハ白耳義、西班牙領「モロッコ」及「タンヂエー地方」ハ西班牙、葡領「タイモール島」ハ葡萄牙、「アラスカ」、「ホルトリコ」、「パナマ」、「ハイチ」、「サントドミンゴ」、「グアテマラ」、「ホンヂュラス」及「ニカラグア」ハ米國、埃及「スダン」ハ埃及、西南阿弗利加ハ南阿聯邦、「アフガニスタン」及「ネパール」ハ英領印度、英領「ホルネオ」ハ海峽植民地ニ對スル増給率ニ依ル

二、(舊)智恵古トハ獨領「ボヘミア」、「モラヴィア」地方ヲ謂フ

達第百六十五號

軍事教育圖書經理規程中左ノ通改正ス

昭和十五年八月十九日

海軍大臣 吉田 善 吾

第四條第三項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ部外ニ貸與スルトキハ海軍大臣ノ監督ニ屬スル法人、組合等ニ對シ普通圖書ヲ貸與スル場合ヲ
除クノ外海軍大臣ノ認許ヲ受クヘシ

(参照會計法規類集下卷一三四頁)

達

四〇五

0401

達第百六十六號

雇員傭人被服料支給規則中左ノ通改正ス

昭和十五年八月二十三日

海軍大臣 吉田 善 吾

第三條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ海陸軍ニ召集セラレタル者、公務ニ起因セザル傷痕疾病又ハ事故ニ依リ引續キ缺勤三十日ヲ超ユル者ニ在リテハ其ノ翌月ヨリ出勤ノ前月迄ノ月ニ對シテハ之ヲ支給セズ

達

四〇七

0402

達第百六十七號

艦艇製造費ヲ以テ昭和十四年度及同十五年度ニ於テ建造ニ着手ノ練習巡洋艦一隻、驅逐艦二隻、潜水艦二隻、測量艦一隻及驅潛艇一隻ニ左ノ通命名ス

昭和十五年八月三十日

海軍大臣 吉田 善 吾

三菱重工業株式會社橫濱船渠ニ於テ建造

練習巡洋艦 香 椎 (カシヒ)

株式會社藤永田造船所ニ於テ建造

驅 逐 艦 谷 風 (タニカゼ)

舞鶴海軍工廠ニ於テ建造

驅 逐 艦 野 分 (ノワキ)

橫須賀海軍工廠ニ於テ建造

伊號第三十三潜水艦

佐世保海軍工廠ニ於テ建造

達

四〇九

0403

達

伊號第三十九潜水艦

三菱重工業株式會社横濱船渠ニ於テ建造

測 量 艦 筑 紫 (ツクシ)

鶴見製鐵造船株式會社ニ於テ建造

第十六號驅潜艇

四一〇

0404

海軍諸例
則登載

達第六十八號

海軍官印規程中左ノ通改正ス

昭和十五年八月三十一日

海軍大臣 吉田 善 吾

第三條中「要港部病院長、」ノ下ニ「旅順要港部主計長、」ヲ加フ

(會計法規類集下卷四一頁、諸例則卷一ノ七一九頁参照)

海軍諸例
則登載

達第六十九號

海軍軍用郵便事務規程中左ノ通改正ス

昭和十五年八月三十一日

海軍大臣 吉田 善 吾

第五條 海軍港務部ノ海軍軍用郵便監督官ハ郵便物遞送ニ付一般郵便官署ト緊密ナル連絡ヲ保持ス

ベシ

第三十八條 海軍軍用郵便所ニ於テ要スル材料及物品ハ海軍軍用郵便所長共ノ數量ヲ定メ海軍軍用

達

四一一

0405

郵便監督官ヲ置カレタル海軍港務部ノ通常物品會計官吏ニ請求シ海軍港務部ノ通常物品會計官吏
ハ之ヲ遞信省又ハ別ニ指定スル一般郵便局ニ請求シ其ノ交付ヲ受ケ海軍軍用郵便所ニ之ヲ交付ス
ベシ

第三十九條、第四十一條、第四十二條及第四十四條中「海軍軍用郵便監督官」ヲ「通常物品會計官
吏」ニ改ム

(諸例則卷一、四一五頁參照)

○正誤

海軍軍用郵便事務規程附錄第六中「軍用船舶郵便物搭載簿」ハ「軍事郵便物搭載簿」ノ誤

昭和十五年達第十七

(諸例則卷一、四三五頁參照)

0406

達第七十號

海軍給與令施行細則中左ノ通改正ス

昭和十五年八月三十一日

海軍大臣 吉田 善 吾

第二號書式(甲)中「月分被服物品消耗品交付交換

書」ヲ「月分被服物品消耗品交付請求書」

ニ、注意ノ項ヲ左ノ如ク改ム

備考 1、被服物品交付ノトキ本請求書ニ捺印セシメ領收證ト爲スモノトス

2、古品ノ交付數量ハ朱書スルモノトス

附 則

書式ヲ變更シタル用紙ハ在庫品ノ在ル限リ適宜訂正使用スルコトヲ得

達

四一三

0407

達第百七十一號

海軍下士官兵善行章令施行細則中左ノ通改正ス

昭和十五年八月三十一日

海軍大臣 吉田 善吾

第十三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十三條ノ二 本則ハ第二條第二項ノ規定ヲ除クノ外召集中ノ海軍豫備下士官兵ニ之ヲ適用ス但シ

第二條第一項中入團又ハ入隊シタル日トアルハ之ヲ應召參著ノ日トシ第八條中海軍入籍前犯シタル罪トアルハ之ヲ應召參著前犯シタル罪トス

附 則

本達ハ昭和十二年九月十日以降召集ノ者及同日以降ノ召集期間ニ付之ヲ適用ス

(諸例則卷二、四九一頁參照)

0408